「思い出は尽きず」（抜粋）　枦山貴和子
昭和27年から29年　登小学校４年生から６年生の思い出
『登小学校開校20周年記念　あゆみ』掲載

今から20年前、私は当時４年生で北登の学校に通っていましたが、私の家から５分くらいのところに学校が建ち、ここへ移りました。これが今の登小学校なのです。学校が近くなったのが何より嬉しく思いました。

当時の４年生は６人だったろうか？新海校長先生と三井先生…三井先生はまだ若く、メガネをかけたやさしい先生でした。教室には４年、５年、６年生と３つの学年が入り、担任は三井先生でした。

遊び時間はかくれんぼ、隠れるところがなく、また生徒が少ないこともあったので、数人まとまって、よくトイレの中に隠れたことも思い出の１つです。人数が少なく、兄弟のような学校生活だったと思います。

私が５年の終了と同時に三井先生は学校を辞められました。６年になった時、鈴木先生が来られ、ＰＴＡの役員をはじめ、在学中の生徒がみんなでバス停まで迎えに出ました。「体の小さなかわいい先生」だったというのが私の第一印象でした。

その年の６月15日、〈鈴木先生の足の裏のようなグランド〉と誰かが言ったっけ…第１回の運動会が行われました。私も走りたかった、そして賞が欲しかった、でもその日は祖母の葬式とぶつかってしまい、父や母には「おまえたちは家にいてもしょうがないので、学校へ行け」と言われ、運動会に出たくて学校へ出かけました。でも先生になだめられ帰されました。祖母が亡くなったということはたいそう淋しいことでした。しかし、運動会に出れなかったのがなおさら悲しかったものです。弟も１年生だったので残念がったものでした。（略）

＊注：「登小学区沿革史」には、昭和29年５月26日、室外運動場整備・トラック150メートル。６月15日、第１回運動会挙行。７月１日、電灯が点く。と記載。